

SSRI

Give me a break !

ちよつと一言

日本の国会は殆ど機能していない

藤岡智和

「桜をみる会」問題でマスコミが騒ぎ立て国会が機能停止している間に、国の命運に係わるような重要な案件が殆ど報道されることもなく国会を素通りして成立している。

「桜をみる会」やそれに関して問題になった文書管理は決して見逃して良いとは言わないが、特に高々5,000万円程度の「桜をみる会」のため数千億円、数兆円の影響がある危険性を持つ諸問題が放置されている。

安倍総理が地元支持者を多数招いたと言うのは不適切だと思う。しかし、だからといって招いたことにより彼が選挙戦で有利になったとは思えず、招かなくても国政に何ら影響はないであろう。それが公選法に違反するというのであれば刑事告発をするなりして司法の場で決着を付けるべきで、国会を止める問題ではない。

この問題で騒いでも国民にとって何ら利するものはなく、利するのは政権のイメージダウンで党利を得る野党だけであろう。

一方、国民の利益や国家の将来に重大な影響を及ぼすと見られる懸案に対し国会やマスコミは何をしているのであろうか。例えば「日米貿易協定」と共に成立した「日米デジタル貿易協定」などである。GAFAの問題が世界的に論じられているなかでの「日米デジタル貿易協定」は大問題であるのにマスコミでは全くといって良いほど報道しておらず、国会でどのような議論があったのかも我々は知らない。恐らく党利党略しか頭にならない野党議員や、面白おかしく民衆を扇動するだけのマスコミには、本来「政治、外交、通商、安全保障」が担うべき事案についての知識見識は無いと思える。

このような風潮に無批判について行く国民がポピュリズムを生む。これで良いのか。
(2019年12月9日)